

～大学合唱コンペティションならびに京都合唱祭についての報告～

同志社グリークラブ OB 会の皆様、日頃よりご支援賜り誠にありがとうございます。

私、同志社グリークラブ 117 期幹事長の藤尾快と申します。

この度は、先月 10 月 23 日(土)、大阪府泉佐野市エブノ泉の森ホールで開催されました「第 7 回大学合唱コンペティション」と、11 月 7 日(日)ロームシアター京都にて開催されました「京都合唱祭 2021」についての報告をさせていただきます。

・第 7 回大学合唱コンペティション

課題曲として寺嶋陸也先生作曲の「かけかへのないもの」、自由曲として Veljo Tormis 作曲の「2つの献呈歌」と「大波の魔術」の 3 曲を演奏し、金賞を受賞いたしました。

課題曲「かけかへのないもの」は寺嶋陸也先生が今回のコンクールのために書き下ろしたものであり、音源が無い中で、学生自らが楽譜と向き合いながら音楽を作っていく難しさや楽しさを改めて感じさせられました。

当コンペティションは「大学生による大学生のための合唱コンクール」と題されており、ただ演奏するだけではなく、他団体の演奏を鑑賞する機会がありました。また、他大学の学生と交流し、制限された状況下でも活動を続けてきた知恵を交換し合う場面も見られました。コロナ禍により本番のステージに立つ機会が失われた我々にとって、同じ境遇の大学合唱団の演奏を鑑賞出来たこと、他大学の学生と交流できたことは、定期演奏会に向けた良い刺激になったと感じております。

・京都合唱祭 2021

京都合唱祭のステージで我々は「酒頌」と「Ev'ry Time I Feel the Spirit」を演奏いたしました。多くの OB の皆様に足を運んでご好評いただいたこと、現役一同心から感謝しております。

同関交歓演奏会から 2 か月間は、関西合唱コンクールや大学合唱コンペティションに臨むことから、少なくとも「採点される音楽」を作り上げてきた感覚がありました。競い合う場で頂点を目指すことは勿論ですが、厳しい練習を繰り返すことによって「歌うことの楽しさ」を下回生に伝えることが難しかったように思います。そういった中で、お客様の前で歌う楽しさや喜びを京都合唱祭のステージで再確認できた団員が多く、幹事長として、下回生を指導する上回生として、大きな喜びを感じる事が出来ました。

多くの人に「男声合唱はカッコイイ」「同志社グリーが好きだ」と言っていただけのように、今後も現役一同、定期演奏会に向け精進していく所存です。今後ともご支援賜りますようよろしくお願い致します。

以上、幹事長からの報告とさせていただきます。